

【小学校・生活科】

平成30年度の重点

1 指導計画及び評価計画の工夫・改善

- 指導計画の作成に当たっては、2年間を見通した中で自分と地域の人々、社会及び自然とのかかわりが具体的に把握できるような学習活動を行い、校外での活動を積極的に取り入れ、それらを一体的に扱い、多様な活動ができるよう特色ある指導計画の作成に努める。
- 2学年にわたっての継続的な飼育、栽培を行うことで、動物や植物へのかかわりが深まるよう各学校において、児童の実態、飼育・栽培に関する環境、活動のねらいに応じて創意工夫する。
- 国語科、音楽科、図画工作科など他教科等との関連を積極的に図ることで指導の効果を高めるようにし、特に第1学年入学当初においては、幼児教育との連携を図りながら、学校生活への適応を進めるために「スタートカリキュラム」を編成し、生活科を中心とした合科的な指導を行うなどの指導計画の工夫・改善に努める。
- 評価計画の作成に当たっては、単元等ごとに観点別学習状況の評価規準を設定し、目標の達成に向けた指導と評価の一体化を図り、結果にいたるまでの過程を重視した適切な評価がなされるよう評価計画の工夫・改善に努める。

2 指導方法及び評価方法の工夫・改善

- 具体的な活動や直接体験を重視し、多様な表現活動の展開により、児童一人ひとりが主体的に活動できるような授業の創造に努める。また、身近な人々、社会及び自然とのかかわりの中で、児童が自分自身や自分の生活に目を向け、自立への基礎を養うことができるよう個に応じた指導方法の工夫・改善に努める。
- 活動や体験だけに終わらず、振り返り、表現する機会や試行錯誤したり、繰り返したりする活動を設定し、気付きの質を高める指導となるよう配慮する。
- 一人ひとりのよさに着目するとともに、具体的な活動や体験の広がりや深まり、実践的な態度を積極的に評価するよう、評価方法の工夫・改善を図る。

3 指導における留意点

- 具体的な活動や体験したことを言葉などによって表現したり、他者と伝え合ったりして言語活動の充実を図る。
- 道徳教育の目標に基づき、道徳科などとの関連を考慮しながら、道徳科の内容について、生活科の特質に応じて適切な指導をする。

参考 ◆県教育委員会ホームページ

- 評価資料集Ⅲ－評価活動の参考資料として－小学校
<http://www.pref.kanagawa.jp/uploaded/attachment/363881.pdf>
- 教育課程編成の指針（幼稚園，小学校，中学校）小学校生活（平成22年作成）
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/v3p/cnt/f6668/index.html>
- 教育課程編成の指針（幼稚園，小学校，中学校）小学校生活（平成30年作成）
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/v3p/kyouikukateisisinn.html>
- まなびと学びをつなぐ 小学校と就学前教育の連携 指導資料集
<http://www.pref.kanagawa.jp/uploaded/attachment/363891.pdf>
- まなびと学びをつなぐ 小学校と就学前教育の連携 実践資料集
<http://www.pref.kanagawa.jp/uploaded/attachment/363893.pdf>
- ◆文部科学省関連資料
- 「学校における望ましい動物飼育のあり方」（文部科学省委嘱研究）
http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/nc/06121213/001.pdf
- 幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について（報告）（幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方に関する調査研究協力者会議）
http://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfile/2011/11/22/1298955_1_1.pdf
- スタートカリキュラム スタートブック
http://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/startcurriculum_mini.pdf
- 移行措置関連資料
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1387780.htm